

令和4年度 第1回喜入支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日 時	令和4年6月24日（金） 14時00分～16時10分
場 所	喜入支所
出 席 者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、事務局
会 次 第	<ul style="list-style-type: none"> ○委嘱状交付式 ○事業説明 <ul style="list-style-type: none"> ①地域の魅力・活力共創事業の概要 ②地域活性化アドバイザーによる事業説明 ③支所管内の振興に係る地域懇話会の概要 ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①喜入地域の地域資源 ②喜入地域の課題 ③課題解決の方向性
主な意見等	<p>【各委員等からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民にとっては、計画を策定することよりもどんな事業をしたかが重要。例えば「日本遺産・旧麓地区」には、案内看板がない。看板を作成する等そういった実績を地域住民に示してほしい。 ○ 支所内に移住したい人向けの相談窓口があればよいと思う。 ○ 映画撮影で上空からの喜入地域の映像がすごくよかったという声を聞いた。そういった動画等を使って、喜入をPRしていったらどうか。 ○ 若い世代へのバトンタッチをテーマに挙げてよいのでは。地域役員だけでなく、伝統芸能等の継承も課題である。 ○ 若手リーダーの育成について、伝統やしきたりを大切にせずして、新しい企画が何もできない。若い世代主体のまちづくりができないのが課題である。 ○ 今後移住者が増えることが予想される。参加して楽しい地域活動の雰囲気を作っていくことが重要である。 ○ P T A 活動が昭和的で古く、最近の共働きのライフスタイルにあっていない。あいご会活動の負担も大きい。 ○ 鹿児島ユナイテッドFCトレーニングセンターと日本遺産、グリーンファームの地域資源を生かすのであれば、JRで来た人の交通手段がないのでレンタサイクルを喜入駅に設置してはどうか。 生見海水浴場に“海の家”を整備してバーベキューができるようにしたり、そのバーベキューのお肉や野菜は地元の生産者から仕入れたり、夏だけでなく年中利用できるトイレを整備したり、生見海水浴場やグリーンファームのキャンプ場を利用した人はマリンピア喜入の温泉割引券が利用できる等、そういった環境を整備することはできないだろうか。 その運営は地域でするのではなく、運営できる企業を設立して若い人を呼び込むことはできないか。 ○ 鹿児島ユナイテッドFCの練習を週1回見学できるようになった。キッチンカーに来てもらい、少しでも長く喜入に滞在して楽しんでいてもらいたい。 ○ トレーニングセンターの駐車場は関係者以外利用ができないため、マリンピア喜入の駐車場を利用できるよう働きかけてほしい。そうすれば、マリンピア喜入の利用にもつながるのではないか。 ○ 鹿児島ユナイテッドFCが盛り上がれば喜入が盛り上がる。地域と行政とでサポートしていきたい。 ○ 地域外から移住してきた人が自治会になじめるようサポートしていきたい。 ○ 移住者の受入れについてよそ者を受け付けない雰囲気があり、溶け込むのに時間がかかる。どんな人でも最後まで生き抜ける地域にしていきたい。 ○ 以前は6校区でワークショップをして校区間のつながりがあったが、解散してつながりがなくなってきた。

- 「喜び入るまち」のネーミングを大切にまちづくりをしていきたい。
- 喜入でイベント開催するときは、特産品を提供できるとよいのでは。

【地域活性化アドバイザー】

- 運営については、押し付けるのではなく、地域でサポートして継続して運営することが大切。
- その場でしか体験できない付加価値をつけて、収益を生むことを考えていかなければならない。ちょっとした工夫が必要。
- 喜入は市内から指宿への通り道。その“人の導線”を活用できるとよいのではないか。